



調査現場で発掘作業に取り組む皆さん

発掘 入門講座

「発掘って地道にコツコツ掘り続けるのだからけど、実際はどのようになっているのだろう」と思っている人はたくさんいるはず。作業員の皆さんが、調査現場から一連の流れをお届けします。

歴史を知って、肌で感じる

「発掘って何」「何か出たらおもしろい」という興味から参加しました。時代背景や土の層の説明を聞いて掘っていくと、いろいろな想像が膨らみます。「歴史を肌で感じるとはこういうことかな」と思う日々です。

上川田町在住（発掘初参加）

歴史をつなぐ発掘作業

平成27年度の発掘にも参加し、今回はその時につかめた堀の構造と深く関連がある重要な調査と感じています。大変な労働もありますが、遺跡を調べる作業や昔の時代のことなどを知るのが楽しいです。

屋形原町在住（発掘歴5年）



3 いよいよ本丸堀の中を掘り進めます



4 土は穀物の選別や運搬に使うプラスチック製の「箕」を使って運びます



2 土の色や質の違いから、自然のままの土と人の手が加えられた土（堀を埋めた土）を見極めます



5 調査区は水平、垂直に、無駄な物がないように整えます。こうすることで遺跡の姿が浮かび上がります



1 表面を覆っている土（表土）を掘っていきます。平らにカンナをかけるように仕上げます



6 写真や図面を作成して遺跡を記録します。今後も検証可能なように、多くの情報を正確に書き留めます

発掘調査現地説明会を開催します

8月下旬から9月上旬にかけて、現在進めている発掘調査の成果を公開するため、現地説明会を開きます。調査担当者が調査成果について説明しながら、出土遺物の展示などをします。調査終了後には埋め戻すため、今しか見ることができない貴重な調査現場です。ぜひご参加ください。

日程や詳細が決まりましたら、市HPやSNSなどでお知らせします。

問合せ 文化財保護課文化財保護係
☎内線 2601



▲昨年の発掘調査現地説明会の様子（総計227人が参加）
◀昨年度調査で出土した沼田城の瓦

発掘のはてな

堀や柱の跡などはどうして分かるの？

土の色や質の違いから判断します。発掘作業中は常に土の観察を続け、小さな情報を見逃さずに進めていきます

機械は使わないの？

地表から浅い面など部分的には使いますが、基本は手作業です。出土した破片などを見逃さず傷けないためと、土の変化をじっくり見るためです

「どうして手作業なんだろう」「土器や宝物が出てこなかったら」など素朴な疑問に答えます

どうしてきれいに削るの？

遺跡の細かなところまで見て、正確な情報を得るためです。記録写真や史料としても残していくので、後世にしっかり受け継ぐことができます

何も出てこなかったら？

出てこなくても、その状況を記録します。何もなかったことが貴重な情報だからです。今後の重要な史料になり、発掘での価値ある成果の一つです